

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第3回川越市男女共同参画審議会
開催日時	令和5年1月31日（火曜） 午後2時00分～午後4時00分
開催場所	市役所 4A会議室
議長	会長 大橋 稔
出席者	（会長）大橋 稔 （副会長）大森三起子 （委員）猪野晴代 門田裕子 山口日出美（遅参） 小林弘幸 橋村祥子 高橋巧 高橋健治 矢定夕有子 村川はつ枝 坂詰靖子 小林敦子 （13人） （市民部長）市ノ川千明
欠席者	（委員）瀬川由美子 荒木浩子（2人）
傍聴人	2名
事務局職員 職・氏名	課長 石井みどり 副課長 溝口圭一 主査 山田篤 主任 藤澤翔太
会議次第	1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 議 題 （1）第六次川越市男女共同参画基本計画推進状況報告書について （2）川越市男女共同参画に関する意識調査について （3）その他 4. 閉 会
配布資料	資料1 第六次川越市男女共同参画基本計画 令和3年度推進状況報告書 資料2-1 川越市男女共同参画に関する意識調査（調査票） 資料2-2 「男女共同参画に関する意識調査（案）に対する意見書」 に対する修正点確認表

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1. 開 会 傍聴希望者2名</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 議 題 (1) 第六次川越市男女共同参画基本計画推進状況報告書について 資料1に基づいて説明</p>
委員	第五次計画の推進状況報告書よりも、見やすくなった。
委員	適切に進捗していると思う。A評価の数も重要だが、どのような事業を行うか、内容も大事だと思う。 それぞれの事業を担う職員の意識啓発を続けてほしい。
委員	(資料1の9ページ) コロナの影響で中止や規模縮小となった事業を再計上しているが、評価B～Dの事業だけでよいのか。コロナの影響はあったが、やり遂げたので評価Aという事業もあると思う。
事務局	進捗の遅れに占めるコロナの影響を示す意図があった。来年度は、評価Aにおけるコロナの影響も把握するように検討したい。
委員	推進状況報告として、評価Aがいくつという記載はあるが、総括的なコメントが無い。ホームページ上で良いので、当該年度の総括と次年度以降の方向性について言及できないか。
事務局	令和6年度に第六次計画の中間とりまとめを行う。そこで計画の現状と課題について整理することになる。 当該年度の推進状況に対する総括的なコメントは、ご指摘のとおりホームページ上で言及するよう検討したい。
委員	コロナの影響は受けていないが、遅れていると評価した事業には、どのようなものがあるのか。
事務局	資料1の30ページ「男女共同参画人材リストの活用」という事業

	<p>等がある。コロナの影響とは関係なしに進捗が遅れている事業についても、事務局としては把握している。</p>
委員	<p>評価E（終了）の事業は0だが、これで良いのか。</p>
事務局	<p>現時点で、終了した事業は0で間違いない。</p>
会長	<p>第六次計画の初年度なので、終了した事業は0だが、今後は終了となる事業も出てくると思われる。</p>
	<p>（2）川越市男女共同参画に関する意識調査について 資料2-1、資料2-2に基づいて説明</p>
	<p>（追加説明） 業務委託ではなく、職員が調査・集計を行うことになった。 職員4人で対応する必要があるため、以下のとおり、質問数の削減等を検討している。職員が回答しても13分かかる調査なので、質問数の削減により、回答者の負担も軽減できる。</p>
	<p>（検討内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問5と問6を統一 ・問8、問17、問17-1を削除 ・その他、選択肢の見直し
委員	<p>質問や選択肢を精査したうえで、質問数を絞るのはやむを得ない。</p>
委員	<p>問10では、13ある選択肢から3つを選ぶよう指示しているが、選択肢4と5をまとめる等、類似したものを一つにまとめてはどうか。 また、問4では、選択肢の中でいきなり「自分の活動」が出てきて理解しづらい。質問文を見直す等、回答しやすくしてはどうか。</p>
委員	<p>調査票の見やすさも含めて、精査してほしい。</p>
委員	<p>意識調査は、第七次計画を策定する際の基礎資料となる。意識調査をしっかり踏まえた計画ができるよう、質問を組み立ててほしい。</p>
委員	<p>対象者を3,000人から少なくすると、結果に影響があるのか。</p>

委員	<p>市民全員を調査するのが理想だが、現実的に不可能なので一定数をサンプリングする。この意識調査では 3,000 人を無作為抽出するが、人数よりも回答者の偏りを無くすることが重要である。</p> <p>例えば、質問数が多いと回答に時間がかかるため、時間に余裕がある年齢高めの人々の回答率が伸びることが予想される。</p>
委員	<p>重要な質問が、網羅できていると思う。</p> <p>3,000 人を無作為抽出する場合、年代の内訳はどうなるのか。年齢によって回答できない質問があるように感じた。</p>
事務局	<p>男女同数で、年代も人口比に応じたものになるよう調整する。</p>
委員	<p>回答に要する時間の目安を、示してはどうか。</p> <p>最近のアンケートでは、所要時間を書いてあるものも多い。</p>
委員	<p>慣れた職員でも回答に 13 分かかるとなると、一般市民の所要時間は更に長くなる。時間がかかると分かると、その時点で回答を止めてしまう可能性がある。</p>
委員	<p>調査結果をどう活かすか。その点を意識して質問を取捨選択してほしい。</p>
委員	<p>回答率はどのくらいか。</p>
事務局	<p>40%程度で、1,300 人くらいの回答を見込んでいる。</p>
委員	<p>3,000 人の回答を集計するとなると大変だが、1,300 人ならば現実的な数字に感じた。</p>
委員	<p>調査票の集計には、エクセルを使う予定か？</p>
事務局	<p>WEB 回答と調査票による回答を併用するが、全てエクセルで処理できる。</p> <p>WEB 回答した人が、調査票でも回答する可能性もあるので、調査票に個別の番号を振って、重複回答を防ぎたい。</p>
委員	<p>「無記名のアンケート」としながら番号が振られていると、個人を特定されるのを心配して、回答しなくなる人もいるのではないか。</p>

委員	<p>料金後納郵便ではなく、切手を貼った封筒だと回答率が上がるというデータもあるように、回答率を上げる工夫は大切である。 その点で、WEB回答を取り入れるのは良いことだと思う。</p>
委員	<p>第七次計画につなげる調査である。何を聞いて、何を知りたいか、どんな分析をするのかイメージを持って質問を考えてほしい。</p>
委員	<p>「男女共同参画」と聞くと、難しいイメージを持たれてしまう。少しでも回答しやすいように、問題文等を工夫してほしい。</p>
委員	<p>所要時間の目安を示すのに賛成。 選択肢を減らし過ぎると、「その他」で書かないといけなくなるので、注意が必要である。</p>
委員	<p>質問が多く、問16のように○をつける場所に悩むものもある。回答しやすいように精査して欲しい。</p>
	<p>(3) その他 特になし。 任期満了にともない、全委員から一言挨拶</p>
	<p>4. 閉 会</p>
	<p>次回は令和5年7月頃に開催予定</p>
	<p>閉会后、継続する委員に委嘱書の交付</p>
	<p style="text-align: right;">以上</p>